

新規事業採択時評価結果（平成20年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：下保 修

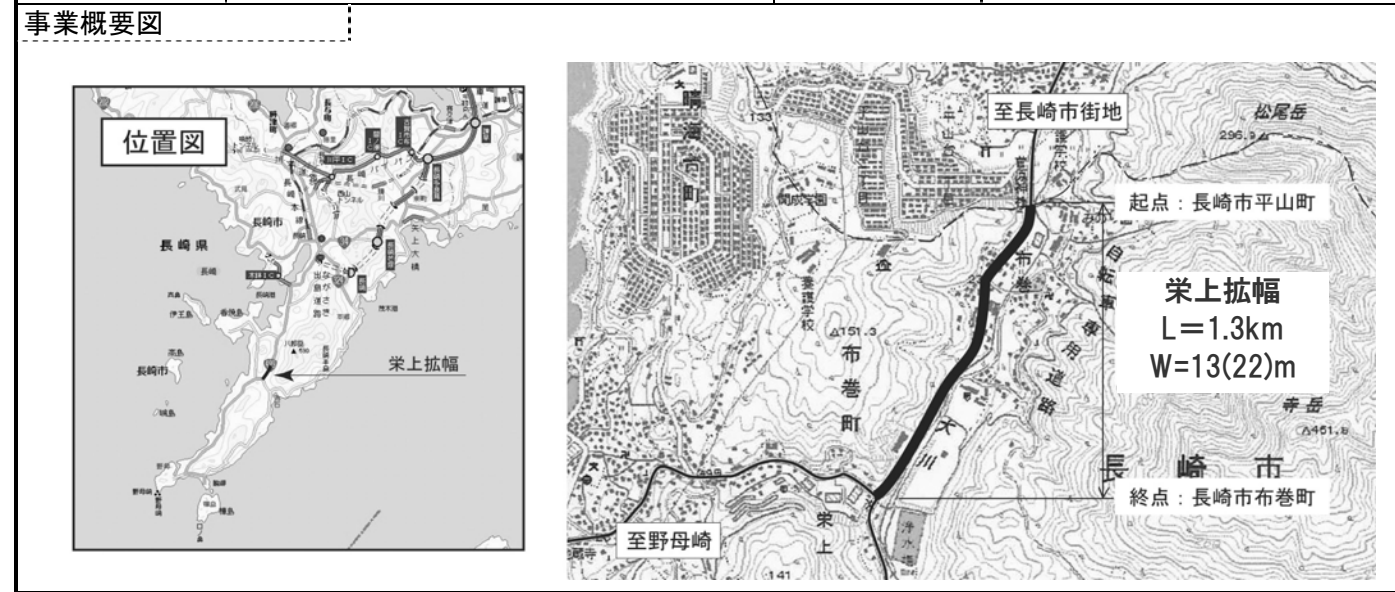
事業の概要

事業名	一般国道499号 栄上拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県長崎市平山町 至：長崎県長崎市布巻町	延長	1.3 km		

事業概要
一般国道499号は、長崎市を起点として海上区間を経由して鹿児島県阿久根市に至る、延長70 kmの幹線道路である。栄上拡幅は、長崎半島の西海岸側を縦貫する延長約2.9 kmの一部にあたり、長崎市南部地域と市中心部を結ぶ重要な道路で、長崎半島地域の活性化に大きく寄与する道路(L=1.3 km)である。

事業の目的、必要性
栄上拡幅は、2車線の1次改良済みではあるが、1日の交通量が17,100台/日(H19実測)もあり交通混雑の原因となっており、また当該区間は通学路となっているが歩道幅員が狭いため、沿道住民の安全かつ快適な歩行者通行の確保及び自動車交通混雑の解消を目的に計画したものである。また、合併後の旧三和町、野母崎町を連絡する重要な道路であり、長崎半島地域の社会・経済の活性化や地域振興に大いに寄与するものである。

全体事業費	35億円	計画交通量	16,700台/日(H42)
-------	------	-------	----------------



関係する地方公共団体等の意見
一般国道499号道路整備促進協議会より早期整備を要望。

事業採択の前提条件
便益が費用を上回っている(B/C 2.2)
円滑な事業執行が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	2.2	総費用：29億円 （事業費：28億円 維持管理費：0.93億円）	総便益：64億円 （走行時間短縮便益：61億円 走行費用減少便益：0.72億円 交通事故減少便益：1.7億円）	基準年 平成19年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=2.4 (交通量 +10%)	B/C=2.0 (交通量 -10%)	
		事業費変動	B/C=2.0 (事業費 +10%)	B/C=2.5 (事業費 -10%)	
	事業期間変動	B/C=2.1 (事業期間 +2年)	B/C=2.3 (事業期間 -2年)		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	○	容量の拡大が図られ走行性が向上し、渋滞損失時間は減少する。 【渋滞損失時間の改善】当該区間 約34.5万人時/年削減(約34.5万人時/年→0万人時/年) 【1kmあたり(台kmあたり)渋滞損失時間】 当該区間 約26.6万人時/年km(現況) 長崎県平均：約1.7万人時/年km(当該区間は県平均の約15.6倍) 【その他の特徴】長崎県内センサス区間(434区間)中第9位の渋滞損失時間	
		事故対策	○	十分な歩行空間と走行環境の改善により、事故件数は減少する。 【死傷事故率】 当該区間 197件/億台km(H16) 長崎県平均：約88.3件/億台km(当該区間は県平均の約2.2倍) 【その他の特徴】長崎県内センサス区間の上位2割に含まれている。	
	社会全体への影響	歩行空間	○	歩行者等の安全性の向上(蚊焼小学校、三和中学校へ通学する生徒がおり、現在歩道が無い区間もあり非常に危険であり、歩道を整備することにより、その安全性が向上する。沿道には商業施設等があり沿線住民の歩行者空間を確保する。歩道3.5m)	
		住民生活	○	医療施設へのアクセス向上 (第二次救急医療施設長崎記念病院への搬出時間短縮に寄与する道路である。) ピーク時における旧野母崎町役場～長崎記念病院の所要時間は最大で8分短縮する。	
		地域経済	-		
		災害	○	第二次緊急輸送路として位置づけられている。	
環境	○	CO2排出量の削減 445.7t/年 NOx削減率 30.8% SPM削減率 28.6%			
地域社会	○	主要な観光施設へのアクセス向上 (主要な観光施設である長崎県亜熱帯植物園(サザンパーク野母崎)へのアクセス向上が図られる。)			
事業実施環境	○	・地元自治体の強い要望あり。			

採択の理由

- ・費用便益比が【2.2】と便益が費用を上回っている。
- ・沿道住民の安全かつ快適な歩行者通行の確保及び自動車交通混雑の解消が図られる。
- ・長崎半島地域の社会・経済の活性化や地域振興に寄与する。
- ・以上より、本事業を採択した。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。